

2021 第 1, 2, 3 RUTC 答えの現場 (33) (社)世界福音化伝道協会 www.wedarak.net		
2021 年 9 月 11～12 日週間祈りカード		
産業宣教/ RTS 主管礼拝 産業人と RTS 「オバデヤ」(Ⅱ列 2:9-11)	伝道学 伝道者と RTS 運動」(Ⅱテモ 2:1-7)	核心要員訓練/RTS 主日 世界福音化の器の準備 (創 37:1-11)
□序論_24 システム「第 1・2・3 RUTC 答えの現場 24」(来年の主題) 1. 24 祈りを悟ればいやし(たましいと肉体)、力が与えられる。みことばの流れ、祈りの流れ、伝道の流れに乗るようになる。この中で私たちがただキリストを見上げる三位一体の神様の奥義を味わうことが 24 祈りだ。 2. 深く入る祈りの課題が作られる(教会、牧会者、神学生ための祈り) 3. この人がオバデヤだったが 100 人を隠して、エリシャ(Ⅱ列 2:9-11)にも影響を与えた。 □本論_流れが見える。 1. エジプト時代 1) 出 2:1-10 次世代を生かすこと 出 3:1-20 モーセがこういう働きをするようになった 2) 出 18:1-25 イテロ 3) 民 14:1-10 この祈りをともに味わった人々がヨシュア、カレブ 2. バトンが渡される-王政時代 1) I サム 3:1-19 このような 24 祈りの人が出てくるようになる。祈りが分からなければ問題に捕えられるようになるが、24 祈りの人は答えを見つけるようになる。問題と関係ない(詩 23:4)。物質をうらやんだり、必要としない。答えがくるから。ポジションがいらない。それよりもっと大きい答えがくるから。 2) I サム 16:1-13 同じ祝福をダビデに 3) I 列 18:1-15 これを受け継いだオバデヤ 4) Ⅱ列 2:9-11 霊の二つの分け前が私に必要 5) Ⅱ列 6:8-23 戦わないで勝つドタンの町運動 △死、危機に会ったときダニエル:「いつものように」(もともとそのようにしていたこと)感謝して祈り 3. 捕虜時代から初代教会時代までこれが伝えられた 1) ダニ 1:8-9 ダニエルは 24 を味わった 2) エス 2:10 エステル、モルデカイ 3) 使 17:1、18:4、19:8 パウロが 24 祈りの中でポイントを置いた所-会堂 □結論_24 祈るとき、24 祈りシステムが作られる。 1. 私と職業 2. 教会と伝道 3. 次世代と神学生 これが 24 になることだ。24 神様を見上げて力を受けて、24 現場で祈りで味わい 24 霊的力を受けて世の中を生かす祝福がみなさんにある。神学生たちが最初に回復することだ。「第 1・2・3 RUTC 答えの現場 24」にととてもすばらしいメッセージがある。 △RTS 学生たちや伝道弟子が握るべき最も大きい祝福が 24 神様がみなさんとともにおられるということだ。「私が祈りができるならばどこにいても関係ない」これから成り立つべきだ。	伝道者と RTS 運動はテモテのような人物を育てることだ。 □序論_25 システム(2023 年度主題)を一言で話すなら伝道運動だ。 △伝道は神様の働きの中に入ることだ。私たちがすることではない。私たちがすることは実がない。伝道は神様の時刻表の中にある。 1. RT7 は極限状況の中にいたが神様の働きをあかした。 彼らが味わって見上げたことが 25 システムだった。 2. イエス様が直接言われたが、神の国のことだ。これが 25 で、伝道で、答えだ。 (これをした所がオリブ山、マルコの屋上の間だが、そこに約束された聖霊が臨んだ) 3. この祝福を味わったパウロとアンテオケ教会 △いつでもその先輩に、その後輩だ。その師匠にその弟子だ。神学校は先輩牧師が自分が経験して神様に恵みを受けたことを後輩の牧師になる人に伝えるのだ。それが神学校の本質だ。 □本論_「その先輩-その後輩」(エリヤとエリシャ)、「その師匠-その弟子」(サムエルとダビデ) 1. モーセ-ヨシュア モーセとともにいたように、あなたとともにいる。どこに行っても。24 だが答えは 25 だ。神様が私たちとともにおられる、これより大きい力はあるだろうか。 2. サムエル-ダビデ この鍵(key)は契約回復、I サム 16:13 サムエルのメッセージを受けたこの日以来、主の霊が激しく下ったのだ。 3. エリヤ-エリシャ 最も重要な鍵(key)は「霊の二つの分け前が私のものとなりますように」 4. イザヤがしたメッセージをわかった人々がバビロンに行った(バビロンの弟子)-王に伝達 5. パウロと弟子-兵士、競技する者、農夫の特徴は「常に」だ。 □結論-あらかじめ 25 を見た人 Remnant7 人を教えた指導者の共通点だ。全国と全世界に弟子が起きることをあらかじめ見た人だ。この人は何が必要だ、必要ではいかを分かる。献金の理由を分かる。これを知っている人が宣教をする。	□序論_絶対(今日の 3 講の要約)-神様の時刻表 今、神様が何を願われるのか。それを絶対と言う。この質問を瞬間ごとに、一生すべきだ。 1. すると 24 が見える(2022 年主題) 2. すると 25 答えがくるようになっていく(2023 年主題) 3. 絶対という奥義を味わうことが永遠だ(2024 年主題) 1) 霊的なことのために肉的なことを投資すること 2) 未来のために今日を投資すること 3) 永遠なことのために臨時のことを投資すること 神様の時刻表の中にすべて入っているので、いつでも「私が必ずすべきことは何か」を見なければならぬ。 □本論_神様の絶対的な 24、25、永遠ということを見て、すべての準備をすること 1. 霊的器を準備しなさい 1) RT 7 人(創 41:38) 2) RT 親-ダビデを戦場にお手伝い送到るとき、しるしを持ってきなさい 3) RT 指導者-サムエルがダビデに伝達したこと伝達 2. 隠れた器で福音化運動に用いられるようになる。私ということは必要ない。 1) 創 45:1-5 神様がいのちを救おうと私を先に送られた。自分というものが全くなかった。 2) 出 4:24 神様はモーセが必要だと言われ、あなたがいないてもかまわないと言われた 3) I サム 3:19 神様のみことばに捕われた人。私の主張も必要ない。 4) I サム 16:13 主の霊が激しく下るのだ。 5) Ⅱ列 2:9-11 あなたの霊の二つの分け前が私のものになりますように。肉的なことを全く要求しなかった。 6) ダニ 1:8-9 神様が私をここに送られた絶対みこころが何か見つけ出した 7) ビリ 3:1-21 自慢できるものはあったがちりあつた、キリストの手に捕えられているそれを捕らえに行く、上から呼ばれた召しによる報い、天国国籍、万物を服従させるイエス・キリストの御名 3. 実際の器を準備しなさい 1) 使 11:19 迫害のときの教会、初めての宣教、危機は良い機会 2) 使 16:6-10 門が閉じられたときが、より良い時刻表、使 16:19-40 監獄に行ったことは証人の機会 3) 使 19:21 23:11 27:24 このことばがわかった人はみな答えを受けた。 □結論_福音運動を正しくすれば 24、25 を越えて 1. 永遠に残るもの(救われたたましい) 2. 神様が絶対的に願われる時刻表の中に 3. その場所、そのこと △卒業する前に契約をしっかりと握って編集、設計、デザインしなければならぬ。

2021 第 1, 2, 3 RUTC 答えの現場 (33) (社)世界福音化伝道協会 www.wedarak.net								
2021 年 9 月 11~12 日週間祈りカード								
聖日 1 部礼拝/RTS 主日 霊的権威の絶対理由 (I サム 16:23)	Remnant 礼拝 恐れてはならない (ヨシ 1:1-9)	聖日 2 部礼拝/多民族宣教献身礼拝 多民族宣教の技能 (I サム 17:33-37)						
ダビデに対する聖書箇所 2 つ、I サム 16:13 と I サム 16:23 は必ず記憶すべき。神学生たちが一生、常に握るべき □序論 1. I サム 16:13 主を見上げる巡礼者の祈り-呼吸しながら「キリストの聖霊の力で私に、あの人に満たしてください」この祈りを 24 したこと (詩 23:1、詩 18:1) 1) 3 超越の答え (御座、時空、237 光) 2) 私の中の霊とたましいと生命力が生かされる答え (3Setting) 3) ゴリヤテに勝つ世界を生かすタラントに変わる答え 2. I サム 16:23 悪霊が離れる働き-霊的権威を与えられた絶対理由は多くの人が悪い霊に捕らわれているため 1) イエス様の最初と最後のみことば (マコ 3:13-14、マコ 16:15-20) -悪霊を追い出す権威 2) パウロが祈りで悪霊につかれた者をいやした (使 16:16-18) 3) 巡礼者の祈りで世の中を生かす暗やみを打ち砕く無限の背景の働きが起きる-創 3:15、出 3:18 この契約を握る瞬間、無限の答えとすべての暗やみが離れる。 □本論_神学生が回復しなければならない祈り 1. まことの祈り-主だけを見上げる祈り 6 日だけ体験してみなさい。ただ聖霊の満たしを私に与えてください。これを祈った巡礼者が世界を生かす 2. 24 祈り-奇跡を起こす すべての苦しみの中で、私に came 問題の中で、難しい状況の中で祈り 24 3. ただ契約の箱と礼拝する神殿を祈り-ダビデぐらい答えをたくさん受けた人はいない。 △本当に祈りを始めるべき。何かください、どこに送ってほしいという間違った祈り。私の祈りはない。神様が私とともにおられる。神様がすべて準備しておかれた。一週間だけ私の祈りの課題をなくして、主を見上げる祈りをささげてみなさい (マタ 6:33)。この巡礼者の祈りをするとき、3 超越の答え、無限の背景が生じて、すべての力と答えがみな回復。祈りを悟って 24、ただ聖霊の満たし 24、すべての現場に 24、この三つがつながって、御座の答えがき始める。この御座の力、時空超越の力、237 光を放つ体験をしてこそ人を生かすことができる。世の中を生かす暗やみを打ち砕く無限の背景がある祝福を体験しなさい。 □結論_ダビデがした祈り三つ 1. 時間定めて深い祈り (詩 5:3、17:3) -定刻祈り 2. 特別なことが起こったとき、神様だけ見上げる特別祈り 3. より重要なことは 24 祈り	神様が Remnant に「恐れてはならない」と言われる。その理由はなにか。 □序論_みなさんの立場を正確に見るべき 1. 恐ろしいこと-危機、絶望のように恐ろしいことがあるためだ。 2. とともに-恐ろしいこと、大変なことがあるが、あなたと「ともに」いと約束された。 3. 祈りを分かるので-私の基準で祈るのではなく、神様の基準で祈らなければならない。 1) 世界を動かした人々は祈りの課題がなかった- Trinity の神様が私とともにおられることが祈りだ。 2) 24 祈り-礼拝のとき、困難がきたときだけ祈ったのではなく 24 祈りを味わう。 3) 祈る人が知っていること- 3 超越、3 セッティング、3 空前絶後 □本論_神様がともにおられる理由 1. 次の世代を生かす Remnant なので 1) エジプト-エジプトを超えるくらの文化と実力持つ人がヨシュア 2) 荒野-荒野に勝った。 3) カナン 7 部族、31 王に勝った。 2. 暗やみに勝つ Remnant なので 1) 不可能なヨルダンに分けた。 2) 完全に塞いでいたエリコを倒した。 3) エモリ軍隊と戦って勝った-暗やみと戦って勝った。 4) アナク山地を崩す Remnant 3. 神様の契約を持った者なので 1) モーセとともにいたように (5 節) 2) あなたたちの先祖に約束したみことばのとおり (6 節) 3) 世界を生かす Remnant (8 節) □結論_神様のみことば契約を私のこととしなければならない。 1. 創 1:27 私たちの中に無限の力を発揮できるかたちがある。 創 2:7 霊を吹き込んでとても大きな奥義を味わうことができるたましいを植えておかれた。 2. 危機-危機のように見えるところを訪ねて行きなさい。 3. 契約-問題、困難がきたとき、正確な契約を握って祈るとき「次のこと」が見える。 △今週の Remnant のミッション 1. 祈りの手帳、ノートを大切に保管して、そこに悟った「一単語」を書いてみなさい。 2. 後ほど全体をつなげてみれば、そこで「時代的メッセージ」が出てくる。 3. これを握って 24 時祈りを味わいなさい。	何の誤りがなくても伝道、宣教が分かなければ、わざわざの中に入るようになる。伝道、宣教が分かなければ事実上、福音を分らないことと同じだ。 □序論_伝道、宣教の絶対理由を知っていたダビデ (本文背景説明) <table><tr><th>ゴリヤテ</th><th>イスラエル</th><th>ダビデ</th></tr><tr><td>-背丈が六キュビト半 -よろいだけで五千シ エケル -槍の穂先は六百シェ ケル - 「ひとりだけ選んで よこせ」と話した (8 節)</td><td>-完全に恐れの中にいた。 - 40 日間神様と神様の民がなぶられた (11 節) -サウル王と軍人が身動きできなくなっていた。</td><td>-お手伝いに来てゴリヤテの声を聞く (23 節) -ダビデが高慢だと兄たちが怒った (28 節) -王の前で告白した。</td></tr></table> 神様の絶対理由を悟れば、私の小さいことも多民族宣教の技能になる。 □本論_ダビデが悟った絶対理由 (29 節-「私が今、何をしたというのですか。(私に理由がないでしょうか)」 1. 完全に力をなくしたイスラエルに証拠を見せることが最初の理由 1) サウル王も身動きができなくなっていた。 2) 将軍も身動きができなくなっていた。 3) ダビデの兄たちも身動きができなくなっていた。 2. ペリシテに証拠を見せるべき絶対理由 1) ゴリヤテに証拠を見せた。 2) ペリシテ軍人に証拠を見せた。 3) ペリシテの王と国民に伝えられた-神様は事件を起こしても伝道をされた 3. 全世界に主をあかしする絶対理由 1) ペリシテは全世界に通じる通路 2) ペリシテ周辺にある強大国-アッシリヤ、バビロン、エジプト 3) 強大国には多くの奴隷がいる-彼らが 237、5 千種族だ。 □結論_ダビデのように普段に味わう力と祈り △ダビデは普段に祈りをささげた (詩 78:70-72、I サム 16:13、23) 1. 兄たちとの対話-私がどうして理由がないのでしょうか。「私が今、何をしたというのですか。(私に理由がないでしょうか)」 2. 千人隊長と王の前での対話-主をなぶる者の前から救い出される (ダビデの信仰) 3. ゴリヤテの前で対話-私たちの命は剣にあるのではなく、主の御手にあることを証明 4. ゴリヤテに勝った後- 40 日間主をなぶっていたゴリヤテの頭を切った。 5. 王の前で対話- 「主のしもべベツレヘムの人エッサイの息子です」 △宣教の絶対理由を発見した私の小さい技能に来る答え 1) 御座の祝福-専門性の答え 2) 時空超越の答え-私の仕事の中で現れる。 3) 237 光の答え-経済に起き始める。	ゴリヤテ	イスラエル	ダビデ	-背丈が六キュビト半 -よろいだけで五千シ エケル -槍の穂先は六百シェ ケル - 「ひとりだけ選んで よこせ」と話した (8 節)	-完全に恐れの中にいた。 - 40 日間神様と神様の民がなぶられた (11 節) -サウル王と軍人が身動きできなくなっていた。	-お手伝いに来てゴリヤテの声を聞く (23 節) -ダビデが高慢だと兄たちが怒った (28 節) -王の前で告白した。
ゴリヤテ	イスラエル	ダビデ						
-背丈が六キュビト半 -よろいだけで五千シ エケル -槍の穂先は六百シェ ケル - 「ひとりだけ選んで よこせ」と話した (8 節)	-完全に恐れの中にいた。 - 40 日間神様と神様の民がなぶられた (11 節) -サウル王と軍人が身動きできなくなっていた。	-お手伝いに来てゴリヤテの声を聞く (23 節) -ダビデが高慢だと兄たちが怒った (28 節) -王の前で告白した。						